

地方創生推進交付金事業

〔 県西地域活性化プロジェクト推進事業 〕

1. 事業内容

目的

- 県西地域 2 市 8 町は、都心から近い地域でありながら特色ある自然に恵まれ、豊富な農産物が手に入り、様々な運動を楽しめるフィールドがあるなどの魅力がある。
- 「未病を改善する」をキーワードに、これらの魅力を高めアピールしていくことで、交流人口の増加と地域の活性化を図る。

中井町の役割

- 総合運動公園の充実等を通じた「未病いやしの里づくり」の推進
- 未病の普及啓発や未病の「見える化」を図る拠点を活用したライフスタイル見直しの動機付け
- プロジェクトの方向性に沿った、起伏に富んだ地形を活用したスポーツ振興などの独自の取組み

メイン事業

- 未病の「見える化」を図る拠点の活用や、未病改善プログラムの普及等により、ライフスタイルを見直す動機付けを行う。

2. 平成 29 年度 重要業績評価指標（K P I）

K P I	目標値	実績値（見込み）
①県西地域 2 市 8 町における社会増減	+ 4 0 0 人	+ 6 6 人
②県西地域 2 市 8 町における入込観光客数	5 0 万人	※欄外を参照
③「県西未病観光コンシェルジュ」講座修了者数	8 0 人	(2 5 2 人)

※K P I ②については、平成 3 0 年の秋から冬にかけて発表されるため不明。

3. K P I の達成状況に対する評価

(1) K P I ①について

県西地域 2 市 8 町としては、目標値には届かなかったものの増加した。一方で、中井町単独で見ると△ 8 人となり減少した。転入者よりも転出者が上回っているということで、未病をキーワードに事業の推進がさらに必要である。特に、未病センター・なかい健康づくりステーションの利用者増加を図り、町民が健やかに暮らせる町であることをアピールしていくべきである。加えて、新たに開始した身体活動量・質評価システムを活用した事業の普及啓発に努めるなど、中井町に住み続けたいと思える事業展開が求められる。

(2) K P I ②について

平成 2 9 年度の実績は不明であるが、平成 2 8 年度の実績では入込観光客数プラス 3 0 万人の目標を設定しており、実績としてはマイナス 2 3 万人で K P I は未達成であった。

ただし、平成 2 8 年度は、大涌谷周辺での火山活動の活発化に伴う立入規制及び交通機関の長期運休等が影響したことから、K P I は未達成となったが、立入規制が緩和され交通機関も通常運行に戻るなど、状況が改善され入込観光客数の回復傾向も見られることから、平成 2 9 年度の数値はかなり回復しているものと考えられる。

(3) K P I ③について

小田原市、南足柄市、松田町の 3 会場でセミナーを開催した。K P I の見込みを 2 5 2 人としているが、講座修了者で再受講している方が含まれている。重複者の除外に時間がかかるため人数が多くなっているが、実際には目標値程度に減る見込みである。当 K P I については、各地域の魅力を高めることで、地域の魅力が実感でき、幅広く魅力を伝えていきたいという気持ちに繋がるものと考えられるため、中井町では未病に関連する事業の普及・推進を図っていきたい。